

地域と  
寿泉堂を結ぶ  
コミュニケーション  
ペーパー

# 福寿草 うららか

2012  
January&February

No.187

## 謹賀新年

本年も「寿泉堂グループ」をよろしくお願い申し上げます

財団法人 湯浅報恩会  
寿泉堂総合病院  
寿泉堂香久山病院  
寿泉堂クリニック  
寿泉堂香久山居宅介護支援事業所  
寿泉堂香久山通所リハビリテーション事業所  
いずみ訪問看護ステーション  
社会福祉法人 いずみ福祉会  
介護老人福祉施設 スプリングガーデンあさか  
特定医療法人 為進会  
寿泉堂松南病院

### ◎目次

年頭のごあいさつ ..... 2/3

新病院特集⑧ ..... 4/5

寿泉堂NEWS ..... 6/7/8

- ・着任医師紹介
- ・“解剖慰霊祭”開催 御霊のご冥福を祈る
- ・復興の光となることを祈り～ウインターイルミネーション点灯～
- ・クリニカルパス検討会が開催されました
- ・例年以上の盛り上がり～寿泉堂病院学会～
- ・地域医療の水準向上を目指して
- ・マンション居住者対象の健康教室を開催しました
- ・投書箱⑩～患者さんからのご意見～

ナースNEWS ..... 9

- ・救急車同乗研修に参加して

施設NEWS ..... 10/11

- ・寿泉堂香久山病院
- ・寿泉堂クリニック
- ・寿泉堂松南病院

味なメニューで健やかに⑦④ ..... 12

教えて!お薬豆知識④① ..... 12

寿泉堂総合病院オープンシステム

登録医師のご紹介⑦③ ..... 13



# 年頭のごあいさつ



財団法人 湯浅報恩会  
理事長 湯浅大郎

あけましておめでとうございます。未曾有の天災と人災の爪痕もまだ癒えない中で賀詞をしたためることは多少抵抗を感じますが、本年が地域の、そして皆さまの復興へ向けた希望の年となる願いを込めて「おめでとう」と申し上げます。

東日本大震災と原発事故の発生に際しましては、多方面からお見舞いや励ましの言葉、有形無形のご支援を頂戴いたしました。この場をお借りして心より御礼申し上げます。

今回の災害は私たちの価値観や人生観すら揺るがすほどのインパクトを有していましたが、それでもなお、当法人の使命が、質の高い医療を提供することによって地域の皆さまの安心を支えていくことである点に変わりはありません。あえて付け加えるならば、本年は、同じ災害を経験した者だけが持ちうる細やかな心遣いをもって診療に当たるとか、診断のつく病態以上に患者さんの痛みを思いを至らせることを心がけるなど、定量的には評価できない「質」の部分を高めていくことに、従来にも増して力を注がなくてはならないと思っています。

また、原発事故という重い十字架を背負った福島県の医療機関である私たちには、放射線による健康リスクを冷静かつ科学的に把握する努力も求められています。昨年9月に開催された日本医学会総会では、自然放射線レベルが高い地方における生物学的・疫学的研究に基づき、「長期間にわたる低線量被曝は、生体防御力の対処により障害の現れ方が小さい」という知見が紹介されましたが、ほとんど報道されることはありませんでした。もちろんリスクを過小評価することがあってはなりません。本県が真の復興を果たすために私たちは、他医療機関とも協力の上、たとえば受動喫煙のリスクと比較することなどによって「放射線を怖がりすぎない」ことの重要性について内外に発信していきたいとも考えています。

例年以上に固い挨拶となってしまいましたが、本年も一年間、何卒よろしくお願い申し上げます。



寿泉堂総合病院  
院長 金澤正晴

新年あけましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、昨年3月の東日本大震災からの復旧、復興に思いを巡らしながら、年の始めを迎えられたこととお察しいたします。また、旧年中は寿泉堂総合病院に対して多くのご心配や励ましのことばをお寄せいただき、深く感謝申し上げます。

前湯浅伸郎理事長の先見の明によるものでしょうか、震災の38日前に新病院に移転したために被害が軽度で、入院および外来診療に支障をきたすことも少なく、不幸中の幸いでした。地球の時間的規模からすると、まさに紙一重、神がかり的と思わざるをえません。地震、原発事故は不幸な出来事としか言いようありませんが、そのようなことがあったとしても、私たちは医療人として地域の皆さまの健康維持のために休むことなく貢献しなければならないと思っています。

初代湯浅為之進院長が寿泉堂病院の礎を築いて125年、「第二の創業」2年目にあたる今年には総合病院の真価がまさに問われるときであり、旧病院時代より高めの目標を設定し、クリアしていくことが必要となっています。一方で、新病院になって職員のモチベーションも高く、診療内容が充実してきたことを実感しています。前理事長の念願であった最先端の放射線治療のすべり出しが順調であることをはじめ、外科系の手術内容が高度化してきていることも心強いところです。内科系の診療内容もまた然り、さらに機能アップをはかりたいと念じています。

寿泉堂に寄せていただいた投書をじっくり読ませていただいて分かることは、病院の職員は常に、「笑顔」と「あいさつ」を忘れず、「相手の立場になって親身に対応」することが必要だということです。病院が新しくなって心機一転、新しい年を迎えて心機一転、職員一同、初心にもどって日々の診療、職務に励み、皆さまのご期待に応えたいと思います。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



# 年頭のごあいさつ



寿泉堂香久山病院

院長 春山和見

新年あけましておめでとうございます。

昨年は皆様においても大変悲しい問題をかかえる年でありました。新年早々に以下に述べることは相応しいとは思いません。しかし地震、津波はどこか腹の括れるところがありますが原発事故は許すことができません。国は福島県民に対し如何に懐柔するかで奔走しているとしか思えません。私達は今後、長期間にわたって注視していく課題があります。その第1は30年後の最終処分場の県外移設です。細野原発担当相は「今40歳だから70歳まで必ず見届ける」と言っています。その頃県民は次の世代に代わっています。何を担保にしているのでしょうか。空手形にならないよう県は政府と国会に対し証文をとっておくべきです。第2に県知事の顔がよく見えません。既に県議会は県内全ての原発の廃炉を採択しているのに拘らず、知事は第1原発の5・6号機はもとより第2原発についても明確な方針を示していません。強いメッセージが要求されます。第3にストレステストの問題です。現在進行しているストレステストは3月11日以前の地震と津波を想定して計算しているのです。政府の事故調査委員会およびIAEA査察の最終報告を待たずにしての見切り発車には強い怒りと違和感を覚えます。何も学んでいないのではないのでしょうか。いずれにせよ政治家には政治献金、大学には研究費、官僚には天下り先、マスコミには広告費、地方には交付金。この構造を支える安全神話が未だ完全には払拭されていないように思われます。

ともあれ、寿泉堂香久山病院でも地震による建物の一部損壊がありましたが、7月にはようやく旧に復することができました。この間、多くの皆様方には大変なご不便をおかけいたしました。一方、昨年の9月にはISO-14001の更新審査とISO-9001の定期審査がありました。レベルの高い審査内容でしたがISO-14001は認定を更新することができました。ISO-9001とともに引きつづき医療の質の向上につとめてまいります。

最後になりましたが皆様方のますますのご発展、ご健勝を、また1日も早く大地・水・空気が清らかになることを心から祈念して年頭の挨拶といたします。



寿泉堂クリニック

院長 熊川健二郎

新年あけましておめでとうございます。

昨年の3.11の東日本大地震・放射能汚染の記憶は年があけても薄れません。当クリニックも透析不能となるも患者さんの協力、スタッフの惜しみない努力、本院、他院の協力にて乗り切ることができました。健診部門も3月は開店休業状態でしたが徐々に通常の健診数となっています。これも地域の皆様に支えられたからと感謝しております。

人間は時に思い込みのまま日常を過ごしていることがあります。先日の新聞記事に「粗食はヘルシーと限らず」の見出しあり。内容は粗食は時に低栄養(血清アルブミン値3.5グラム以下)を引きおこすことがあると。低栄養は感染症や脳卒中のリスクを高めます。脂肪やコレステロールを気にしすぎて、肉や卵を敬遠する傾向があり、豆腐やめざしを食べていれば長生きできると思っている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。毎食2種類のたんぱく源を適量取ることが大事と。

健診の血液検査の項目で総蛋白、アルブミン値を確認してみたいか。かの日野原重明先生さえ時にステーキを1枚食べることがあります。食事はおいしく楽しく食べることも大事ではないのでしょうか。

さて、今年は辰年です。より上を目指して頑張ります。健診はスケジュールが一杯でおことわりすることがあり大変申し訳なく思っております。都合が悪くなってキャンセルされた枠の活用、本院の内視鏡室の利用など限られた範囲ですが皆様の御希望に沿いたいと思います。透析部門は午後、夜間透析で対応していきます。

どちらにしても皆様の信頼に答えられるよう職員一丸となって「安心」「安全」「快適」さをより高めていきたいと思っております。

最後に今年こそは平穩、無事な一年であることを祈念し年頭の挨拶といたします。



# 新病院特集⑧ 3階外来紹介

## 産婦人科

産婦人科外来は、3階フロアの奥まった所にあり、はじめての方には少しわかりにくいかもしれませんが、中に入ると待合室が産科と婦人科に分かれ明るい雰囲気になっています。妊婦さんの健診をはじめ、手術が必要な患者さんも多く、体に侵襲の少ない手術も行っております。また、月経痛で悩んでいる方は、ライフスタイルに合わせた治療法が選択できますので、我慢せずお気軽にご相談下さい。当科では、予約診療を行っておりますので、受診の際には事前に予約センターへお問い合わせください(予約の方でも待ち時間が多く生じ、ご迷惑をおかけしております。スムーズな診療が行えるようスタッフ一同努めていきたいと思っております)。

(看護師 古田 幸美)



## 皮膚科

皮膚科は皮膚・毛・爪のトラブルを診察するところです。皮膚の病気は湿疹、虫刺され、水虫、蕁麻疹のような広く知られた病気から、様々な感染症、アレルギー性疾患、角化症、水疱、皮膚腫瘍など多岐に渡ります。

分かりやすく丁寧な説明をするよう努めていますが、疑問点や心配などがあるときはお気軽にスタッフにご相談ください。

(診察日) 長島:月曜(第1/3週)、最終の月曜日

## 眼科

見る・聴く・嗅ぐ・触る・味わう。私たちは、五感によって世界を知ります。なかでも目からの情報は、全体の約80%を占めるといわれる大切な器官です。

当科は、白内障・緑内障・網膜疾患などを中心に、他科とも連携して全身疾患と関連した眼疾患の診療も行っています。

また、福島県立医大の協力により、黄斑・硝子体疾患の治療も行っています。

診療は、午前中に一般外来、午後は手術と予約制による特殊検査(蛍光眼底撮影、レーザー網膜光凝固術など)となっています。

一般診療をスムーズにするために当科では予約制をとっておりますので、できるだけ予約をとられて受診していただくことをおすすめいたします。

(視能訓練士 小田 由美子)



## 歯科口腔外科

当院の歯科口腔外科は、地域の診療所と連携をとり、口腔内の種々の病気(口腔がん、炎症、嚢胞、外傷など)や合併疾患をお持ちの方、インプラント治療、難度の高い抜歯、歯科治療恐怖症の方の抜歯などをご紹介頂いて診療しております。

平成22年11月より通常の虫歯治療や義歯制作などにつきましては近くの歯科医院にて診療を受けて頂いておりますが、必要時には紹介状をお持ち下さい。

午前・午後と予約制をとっております。多少待ち時間が生じる場合もございますが、待ち時間が少なくできるようスタッフ一同努力してまいります。

(歯科衛生士 柳沼 千佳)



## 耳鼻咽喉科

耳鼻咽喉科では、耳、鼻、のどの病気だけでなく顔面やくびの疾患などさまざまな病状の患者さんがおり、子供さんからご年配の方まで幅広い年齢層の方が受診されます。

お困りのことがありましたらお気軽にお声をかけてください。

また、当科は特殊な器材を使うことが多く入院中の患者さんも外来で診察しています。そのため、待たることがありますが、スムーズにいます。

受付

受付





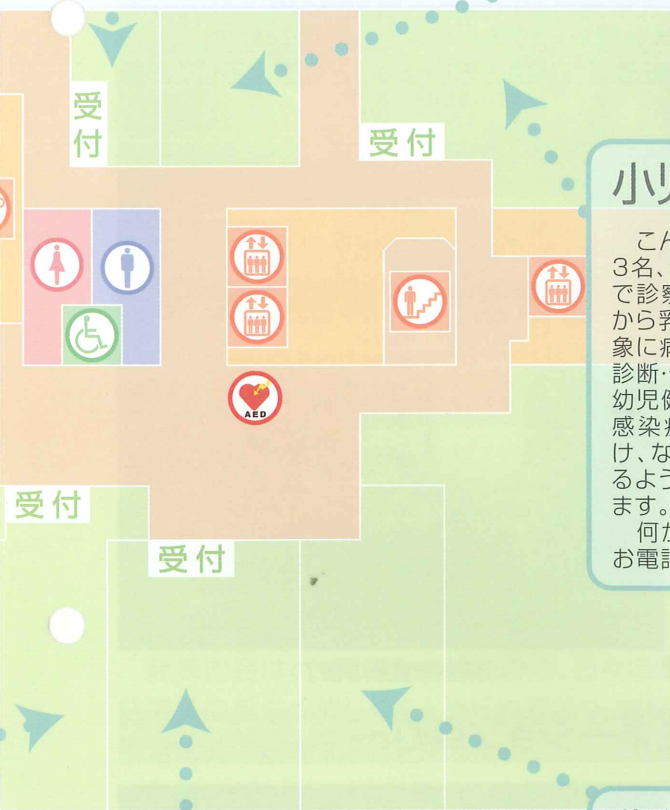
齋藤:金曜(毎週)、山本(福島医大教授):毎月  
(医師 齋藤 まるみ・看護師 大久 栄子)

## 形成外科

形成外科は、主に体の表面にある病気に対する手術を担当する科です。したがって、その治療方法は、ほくろ・皮膚のできものやしこりの切除・やけどや褥瘡の傷、ケロイドなどの傷跡の治療、子供さんの先天異常の手術、悪性腫瘍切除後に生じた欠損部の再建まで多岐に渡ります。手術後の傷跡もできるかぎり目立たなくしようと「見た目」も考えながら治療を行っております。何かわからない点や相談事がありましたら気軽にお声をかけてください。



(看護師 安藤 広子)



## 小児科

こんにちは、小児科外来は医師3名、看護師3名、看護補助者1名で診察にあたっています。新生児から乳幼児、学童(小中学生)を対象に病気の検査・診断・治療と健康診断・予防接種を行っています。乳幼児健診・予防接種は、カゼなどの感染症のお子さんとの接触をさげ、なるべく待ち時間を少なくするように完全予約制をとっております。また、1か月健診や予防接種の後の育児指導などもおこなっております。

何かご心配事などあればご相談ください。なお、健康診断・予防接種の予約はお電話でも出来ますので、宜しくお願いいたします。(看護師 大竹 美加)



## 化学療法室

こんにちは!化学療法室担当の對馬と村上です!

このお部屋は、がんの治療薬・抗がん剤、炎症性疾患の治療薬・生物学的製剤の通院治療のために作られました。かつては長期間の入院を余儀なくされてきました。しかし、新規抗がん剤の開発・副作用のサポートケアにおける薬剤の開発が進んだことにより、入院しなくても、外来で安全かつ安楽に、社会生活を送りながら化学療法を受けることが出来るようになりました。

私達は、医師・薬剤師・緩和医療チームなどと連携を密にして、常に治療を受けている患者さんや家族の皆様へ寄り添い、抱える問題の解決に取り組んでいきたいと看護しています。一緒に治療をおこなっていきましょう!!

(看護師 村上 香織)



待ち時間が長くなることもありご迷惑をおかけ  
診察がおこなえるように努めていきたいと思  
(看護師 三浦 朋江)



## 着任医師紹介



寿泉堂総合病院 泌尿器科・寿泉堂クリニック 透析センター長  
百瀬 昭志 (ももせ あきし)

11月から寿泉堂総合病院泌尿器科に着任しました百瀬です。出身地は山形県、出身大学は弘前大学です。これまで血液浄化療法を中心に勤務、勉強してまいりました。福島県の透析医療に少しでもお役に立てるように一生懸命がんばりますので、よろしくお願い申し上げます。



寿泉堂総合病院 小児科 医長  
酒井 信子 (さかい のぶこ)

11月より、寿泉堂総合病院小児科で勤務しております酒井信子です。出身は山形市で出身大学は福島県立医科大学です。幼少のころから体を動かすことが大好きで、バレーボール部やサッカー部、大学では跆拳道部(アクロバティックな動きを取り入れた空手?)で学生時代を満喫しておりました。大学卒業後は、子供が大好きということもあり、福島県立医科大学小児科学講座に入局しました。大学病院では基礎疾患を持つ子供さんが多く、全身的かつ長期的な関わり方や小児特有な家族との関わり方について学びました。

これまで、培ってきたことを糧に、心機一転頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

## “解剖慰霊祭”開催 御霊のご冥福を祈る

去る10月22日(土)郡山ビューホテルアネックスにおいて、第3回 財団法人 湯浅報恩会 寿泉堂病院解剖慰霊祭が開催されました。今回は平成21年1月から平成22年12月までの2年間に寿泉堂総合病院において亡くなられ、医学・医療の向上のために尊いご遺体を病理解剖に捧げていただいた16柱のご冥福をお祈りいたしました。

この日は朝から小雨の降るあいにくの天候となりましたが、解剖慰霊祭にはご遺族をはじめ寿泉堂総合病院の関係者ら130人が参列いたしました。故人のご芳名を奉読の後、湯浅大理事長より主催者あいさつがあり、続いて金澤正晴院長からは追悼のことばがありました。参列者全員により祭壇に献花が行われた後、ご遺族代表の方よりお言葉をいただき、解剖慰霊祭は厳粛に執り行われました。

(総務課 田辺 均)



〈解剖慰霊祭の様子〉

## 復興の光となることを祈り～ウィンターイルミネーション点灯～

平成23年12月1日より寿泉堂総合病院の玄関回り・ポケットパークにウィンターイルミネーションを設置しました。

このイルミネーションは、平成21年より実施しているもので、新病院に移転してからは初めての実施となります。患者さんご家族にこころ安らぐひとときを味わっていただくとともに、地域住民の皆さまと当法人の職員が良い年を迎えられるようにとの願いを込めて設置いたしました。駅前通りは長引く不況の影響で人通りもめっきり減ってしまい、加えて昨年の大震災・原発事故の発生により世間も暗いムードになっていますが、このイルミネーションが少しでも人々の心を明るくし、小さな復興の光となることを祈っています。

ウィンターイルミネーションは、郡山駅前で開催中のビッグツリーページェントにあわせて1月末まで実施する予定です(点灯時間:18時30分～21時30分)。

お近くをお通りの際は、ぜひ足をとめてご覧になってください。

(渉外広報室 鎌田 俊秀)



〈ウィンターイルミネーション〉



# 寿泉堂NEWS

## クリニカルパス検討会が開催されました

第2回クリニカルパス検討会が、9月29日に寿泉堂総合病院5階大会議室で開催されました。今回は約70名の出席があり、鈴木博志委員長よりオーダリングシステム「HR」の機能紹介がありました。さまざまな機能を上手に使うことで、業務も円滑に行えることを改めて知る良い機会となりました。11階病棟の阿部綾子さんからは「膀胱吊り上げ術パス」の発表がありました。泌尿器科に新しい医師が増えたことで新たな治療法も行っています。パスの作成により標準化したケアが行えるため、今後も作成に力を入れていってほしいと思います。薬剤師の橋本知佳さんからは「がん化学療法の標準化を目指して」の発表がありました。医師や看護師、薬剤師や患者さんとの情報の共有ツールとしてパスを活用していくことは、チーム医療に大切なことだと感じました。

クリニカルパスを通し、医療の標準化・チーム医療の推進が図れることは患者さんの不安の軽減にもつながります。今後も多くのクリニカルパスの作成に委員一同で取り組んでいきたいと考えています。これからもよろしくをお願いします。  
(クリニカルパス委員会 佐々木 真理・阿部 祥子)



〈11階病棟 阿部 綾子さん〉



〈薬剤師 橋本 知佳さん〉

## 例年以上の盛り上がり～寿泉堂病院学会～

第19回寿泉堂病院学会が11月22日寿泉堂総合病院5F大会議室において開催されました。

この学会は年1回開催しており、院内の学術振興と職員の研鑽を目的に職員の日頃の実践経験や研究成果の発表の場となっております。

今回の演題数は、寿泉堂総合病院5題、寿泉堂香久山病院1題、寿泉堂クリニック1題、居宅介護支援事業所1題、計8題の発表となりました。

発表内容は、各職種からのもので、日々の業務に追われる中、症例や業務改善等についての研究分析や調査結果等の報告が詳しくまとめられており、興味深いものが多数発表され、参加者からも多くの質問や意見があり、予定時間を超過するほどでした。

発表終了後には学会参加者の投票により最優秀及び優秀演題を選出し表彰いたしました。平日の業務終了後の開催にもかかわらず、約180名の職員が学会に参加し、例年以上の盛り上がりとなりました。

最優秀賞
「脳卒中救急における 脳卒中初期診療 (ISLS) の重要性」
寿泉堂総合病院 診療部 村上祐子
優秀賞
「365日リハビリテーションを開始しての 取り組みと今後の課題」
寿泉堂香久山病院 リハビリテーション科 小林弘典



〈最優秀賞 村上医師〉



## 地域医療の水準向上を目指して

平成23年11月30日(水)、ホテルプリシード郡山2階にて「泌尿器科症例懇話会」を開催しました。

寿泉堂総合病院では、地域の開業医を対象に、診療科ごとの症例検討会を開催しています。今回は、泌尿器科をメインに講演し、多くの女性を悩ます病気「骨盤臓器脱」や近年急増傾向にある「前立腺癌」、放射線治療装置「トモセラピー」による治療法など、幅広い内容となりました。

定期的に地域の開業医との連携を深め、症例や治療等の情報を共有し、患者さんのためになるように、今後も開催していきたいと思っております。

(地域医療連携室長 岡部 美智江)



(六戸医師講演)

## マンション居住者対象の健康教室を開催しました

11月8日(火)、フロンティアタワー12階コミュニティラウンジにて、マンション居住者対象の健康教室を開催しました。

今年度、5月の健康教室に引き続き第2回目の開催となり、今回は糖尿病科部長の鴻野 浩医師を講師に「糖尿病の治療について」講演を行いました。糖尿病の原因から治療内容、またお薬についてまで幅広く説明され、参加者からは現在治療中の不安事や素朴な疑問までたくさんのご質問をいただきました。糖尿病患者や予備軍が増加している今、糖尿病を知る良い機会として今後の参考になったのではないかと思います。

今後も年2回の開催予定となっているため、マンション住民の方々との交流をもちながら多くの情報提供ができればと考えております。(イベント委員会 岩下 瑠美子)



(鴻野 浩医師)

## 投書箱⑩～患者さんからのご意見～

\*当院に設置してあります投書箱より、皆様からお寄せ頂きましたご意見を一部紹介いたします。

平成23年11月 投書

無意識の中での救急入院になり、スタッフの皆様の献身的な看護により、体温が下がった…と手をたたいて喜んで下さった時に意識が戻りました。この瞬間の事は私の脳裏に深く残っています。

スタッフの皆さんに助けていただいた「命」、有限の残された「命」を大切に過ごして行く事をお誓いして退院致します。皆様一人ひとりに感謝申し上げご活躍とご多幸をお祈り申し上げます。ありがとうございました。

：感謝の言葉をいただきありがとうございます。

検査入院で退院されましたが、再び発熱により思いがけない入院を余儀なくされました事、さぞかし不安だったと思います。そのような状況の中看護させていただき、不安に少しでも寄り添え感謝の言葉まで頂戴した事は看護職として嬉しい限りです。私達スタッフは「患者さん第一」の病院理念に恥じないよう自己研鑽に努めながら、患者さんが安心して入院生活を送れるよう日々の看護に努めたいと思っております。

病棟科長





## 救急車同乗研修に参加して

去る11月9日、郡山消防署での救急車同乗研修に参加しました。秋晴れの中、朝の体操から研修がスタートし、消防署内にある救急車設備の点検や説明を受けました。救急車内には、患者さんに乗せる担架やモニター、血圧計、酸素、注射類、その他人命救助に必要なものが一通り揃っており(写真①)、運転席には、通信指令課から連絡が入ると場所を知らせるナビや緊急のサイレンなど珍しいものがたくさんありました(写真②)。救急隊の方々には毎日備品の点検をし、機械類が正しく作動するか確認をしていました。



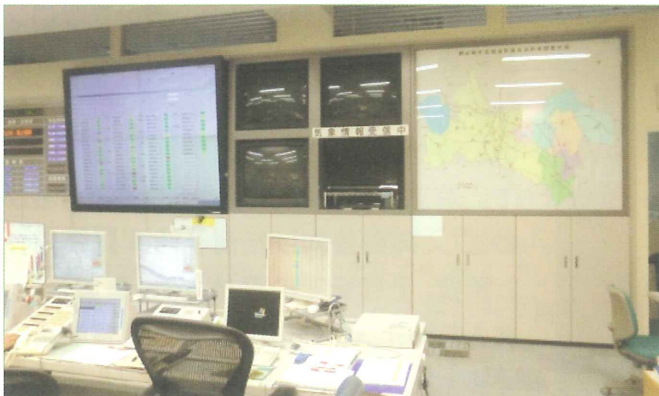
〈写真①〉



〈写真②〉

〈通信指令課に救急要請→現場確認→医療機関へ〉

通信指令課に救急要請があり、救急救命士と共に救急車に乗車し、現場に向かいます。事故による外傷、疼痛、または発熱、気分不快など要請の内容は様々です。現場到着後、患者さんの「体温、血圧、脈拍」を測定し、「傷や疼痛部位の確認」「いつから具合が悪くなったのか」を本人・ご家族から状況確認後、担架に乗せ救急車へ乗り込みます。車内では、血圧などの随時測定はもちろんのこと、患者さんの状態に気を配りながら声かけすることで、患者さんは安心して病院へ向かうことができました。



〈通信指令課〉



〈要請待ちの救急車〉

救急救命士とは、「病院への搬送途上に限り、傷病者に対し救急救命処置を施し速やかに病院へ搬送することを目的とした国家資格の名称」とあります。救急車同乗研修を通して、救急隊がいてこそ人命救助が成り立っていることを学び、とても貴重な体験をすることができました。今回の経験をこれからの看護業務に生かしていきたいと思います。

(眼科外来看護師 森岡 恵美)

\*\*\*\*\*

今回、救急車同乗研修の機会があり、貴重な体験をすることができました。

朝一番のミーティング、大きな声の挨拶や体操など、とてもすがすがしい気持ちになりました。

今まで、救急外来で患者さんの受け入れを救急救命士の方々と関わってきましたが、今回の研修で救急要請から病院到着までの流れを実際の見学を通して学ぶことができました。通信指令課から受け入れ病院までの情報共有の重要性、また救命救急士の現場到着後の迅速な動き・観察・情報収集・対応・処置を3人のチームワークで短時間で行っていることを知りました。

わずか一日の研修でしたが、体力的にも精神的にも負担の大きい仕事であり、「救急イコール病院」の連携がとても大事なことを実感しました。

(小児科外来看護師 大竹 美加)



## 寿泉堂香久山病院

### 「オンリー・ワン」であるわたし ～よりよい援助者であるために～

●接遇研修●



講師：修道会 日本管区 顧問  
香山 智子 先生

2011.10.27



「オンリー・ワン」であるわたし～よりよい援助者であるために～と題した接遇研修を催しました。この世に生を受けたのは偶然ではない。だからこそ代替のきかない大切な存在、かけがえのない存在だということ意識すること。よりよい援助者となるためには、まず自分を知ることから始め、自分をほめる、他人と比べない、自己評価を高め自分に自信を持つことがとても大事だということ。ひとりの人間は全世界よりも尊いということを講演されました。さらに患者としては、温かい人柄の人に、よく気が付くセンスのある人に、賢い人に看てもらいたいもの、などと看護に対してのお考えにも触られました。

(接遇改善推進委員会)

※写真は講師ご友人制作の「天使マスコット」で、応募者全員に「マザーテレサカード」と共に配られました。

### 三中地区で「いきいきサロン」開催



2011.11.11

深沢集会所で今期初のいきいきサロンが実施されました。あいにくの天候にもかかわらず50名近くの参加者があり、楽しい時間が過ごせました。

当院ファミリー倶楽部からは委員6名が参加し、高齢者向け転倒予防体操の紹介と実技、千代紙での楊枝入れ、箸置き、くす入れ制作を一緒に行いました。食事後のフリータイムでは、季節柄インフルエンザ予防接種や肺炎球菌の話題なども出て、感染予防・健康に対する関心の高さがうかがえました。

(ファミリー倶楽部)

### ●医薬品安全管理研修●

#### 輸液製品の衛生管理と感染対策



講師：株式会社製薬工場  
山本俊平 氏

2011.11.29

TPN製剤と血管内カテーテル関連血流感染の感染予防対策を主として、医薬品安全管理研修を実施しました。

カテーテル挿入部の消毒薬、消毒方法、ワンバック輸液製剤の利点などの説明があり、皆、真剣に聞き入り感染予防の知識を深めました。

(医薬品安全管理者)



## 寿泉堂クリニック

### 秋季消防訓練

11月17日(木)午後3時30分より、秋の消防訓練を実施しました。

今回は、健診の利用者が多くいる時間帯(平日の午前中)を想定しての訓練でした。

透析センターのスタッフが、健診の受診者役となり、火災発生時から避難完了までリアリティーあふれる訓練となりました。

通常、健診センターの受診者さんは、各階に分かれて様々な検査を受けているので、実際に火災が発生した場合は、避難誘導がスムーズにいかないことが予想されます。そのため、避難待機中に受診者さんが安心できる様に適切な説明や声かけを行い、安全に避難誘導することが重要となります。

火災を出さないという防火意識が一番大事ですが、今回の訓練を通して、一人ひとりが自分の役割を認識して、迅速安全に的確な行動ができるようにしなければならぬと再確認しました。(健診センター主任看護師 遠藤 双美)



〈消防訓練の様子〉



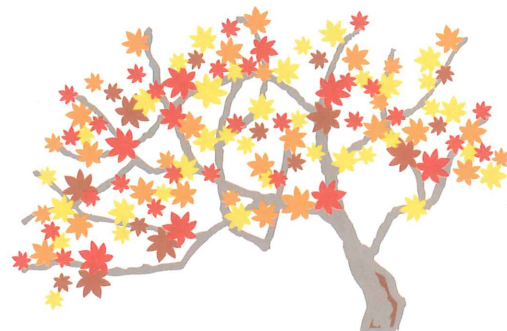
## 寿泉堂松南病院

### 晩秋のもみじ狩りドライブ

11月の中旬、もみじが綺麗に色づいてきたため、老人病棟の患者さんを対象に須賀川市内の公園や牡丹園に紅葉狩りにバスハイクへ出かけました。外はとても寒くなってきた時期でしたが、震災後、初めて外出することができ参加者の多くはとても喜んでいました。車内では赤や黄色に色づいた木々を見て、皆さん口々に「綺麗だ!!」「来て良かった!!」と笑顔で外を眺めていました。当日は、風があり少し肌寒い日でしたが、天気も良かったため牡丹園内を少し散歩することもできました。紅葉した木々の葉が太陽に照らされキラキラ輝く様子はとても綺麗なものでした。牡丹園の中で休憩しながら、お饅頭を食べたり、各々にパンフレットなどを手に取り「思い出に持って帰る」と、皆さん持ち帰ってきたようでした。久しぶりに院外に出ることができ、過ぎゆく秋を感じながらリフレッシュできたようです。(リハビリテーション室 渡邊 タ子)



〈バスハイク〉





## ショウガパワーでぽっかぽか 「からだ“ほっこり”スープ」

しょうがを使って、からだを内側から温めませんか？

また、野菜を油で炒めたり、かたくり粉でとろみをつけたりすると、料理が冷めにくくなり、アツアツを食べられますよ。

### 栄養量(1人分)

エネルギー	62kcal
たんぱく質	2.2g
脂質	1.2g
塩分	0.8g

### 材料・分量 (2人分)

●だいこん(角切り1.5cm).....40g	●水.....300cc
●れんこん(角切り1.5cm).....40g	●鶏ガラスープの素.....小さじ1杯
●にんじん(角切り1.5cm).....40g	●塩.....少々
●ビーンズミックス※.....50g	●こしょう.....少々
●しょうが(すりおろす).....20g	●水溶きかたくり粉.....適量
●ごま油.....小さじ1杯	※ビーンズミックス…ひよこ豆・青えんどう・赤いんげん豆等

### 作り方

- ①それぞれ切った野菜をごま油でさっと炒める。
- ②水、鶏ガラスープの素を加え、煮る。
- ③沸騰したらミックスビーンズ、しょうがを加え、野菜がやわらかくなるまで煮る。
- ④塩、こしょうで味を調える。
- ⑤最後に水溶きかたくり粉でとろみをつけて、できあがり。



しょうがに含まれる「ジンゲロン」と「ショウガオール」が体を温めてくれます。



## 教えて! お薬豆知識 ④1

### 糖尿病患者のシックデイへの対応

風邪などで高い熱が出たとき、下痢や嘔吐などがある時、また大ケガをした時などには食事が取れない割に血糖値が高くなる場合があります。この様な状態をシックデイといいます。

発熱や脱水のため血糖値は通常より上がるので、たとえ食事量が少なくても、糖尿病の薬(特にインスリン)は自己判断で中止してはいけません。しかし、通常のインスリン量では一般に低血糖になります。インスリン注射の場合、比較的食事が摂取できた場合は通常通りに使用し、食事摂取が十分でない時は通常より減量、あるいは中止したりします。経口薬を飲んでいる場合も食事量によって、服用量を減らすこともあります。

いずれの場合も普段からシックデイ時の対処法を主治医に相談し、そういった状態になってしまったら早めに医療機関を受診する様にしましょう。

(薬剤科 白井 健・下重 光範)





# 寿泉堂総合病院オープンシステム 登録医師のご紹介73

寿泉堂総合病院の  
オープンシステムとは

寿泉堂総合病院では、患者の皆様により高度で質の高い医療を受けていただくため、各専門の開業医の先生方と連携を結んで幅広い医療サービスのネットワークを展開しています。このページでは寿泉堂総合病院のオープンシステムに登録されている医療機関の概要を紹介しています。

## 医療法人 星富久山医院

◎診療科：内科・循環器内科



〈星 雄一郎・誠一郎先生とスタッフのみなさん〉

ほし ゆう いちろう ほし せい いちろう  
**星 雄一郎 先生 星 誠一郎 先生**

職員一同、常に高い意識を持ち、当診療所としてできる限りの医療を患者さんへ提供できるよう努めていきたいと思えます。

【休 診 日】 日曜日、祝祭日  
【往診・訪問診療】 行っておりません  
【病 床 数】 無床

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前/ 8:30~12:00	○	○	○	○	○	○	休
午後/13:30~18:30	○	○	○	○	○	○	休



【所在地】  
郡山市富久山町久保田字  
久保田91-1  
【電話番号】  
024-932-1608  
【FAX番号】  
024-932-1608



読者の皆様へ

当院の明るく和やかな雰囲気を是非来て、見て、感じて下さい。

## 医療法人和修会 本田歯科クリニック

◎診療科：歯科



〈本田 和憲先生とスタッフのみなさん〉

ほん だ かす のり  
**本田 和憲 先生**

口の中から患者さんの生活の質の向上に寄与していきたい。

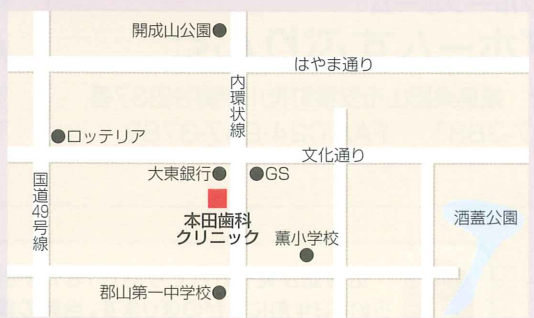
【休 診 日】 水曜日午後、日曜日、祝祭日  
【往診・訪問診療】 行っております  
【病 床 数】 無床

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前/ 9:00~12:30	○	○	○ <sup>※1</sup>	○	○	○	休
午後/14:00~19:00	○	○	休	○	○	○ <sup>※2</sup>	休

※1=13:00まで ※2=16:00まで



【所在地】  
郡山市鶴見坦  
3-1-3  
【電話番号】  
024-922-5454  
【FAX番号】  
024-923-9454



読者の皆様へ

何でも相談できる診療所を目指します。『食べる楽しみいつまでも』



# 外来診療のご案内

平成23年12月1日現在



福島県郡山市駅前1丁目1-17  
(024)932-6363(代表)

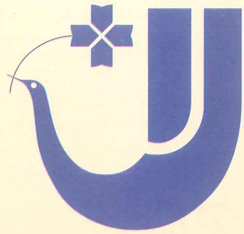
【受付時間】 平日7:30~16:00 土曜日7:30~11:30  
(午前中の受付11:30まで)  
【診療時間】 平日9:00~17:00 土曜日9:00~13:00

時間	診療科目	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日		
午前	内科	呼吸器内科 第1診	前田	大野	前田	長岐	前田		
		循環器内科 第2診	岩谷	鈴木	谷川	鈴木	岩谷	担当医(予約制)	
		糖尿病内科 第3診	鴻野		鴻野		鴻野		
		総合内科 第4診		岡本	金澤	(腎臓内科) (1:30週/予約制)		岡本	
		消化器内科 第5診	解良	急患のみ	解良	担当医	斎藤		
	神経内科				福島医大				
	心療内科・精神科	今泉	野崎	今泉	鈴木	橋	熊代		
	小児科	第1診	及川	佐藤	福島医大	及川	佐藤	福島医大	
		第2診	福島医大	酒井	及川	酒井	酒井	10:00より・担当医	
	外科・肛門科	第1診	浦住	菊地	中山	浦住	中山	担当医(交替制)	
		第2診						岸本(4週/予約制)	
	心臓血管外科								
	脳神経外科	佐藤	佐藤	佐藤	佐藤	佐藤	佐藤		
	皮膚科	山本(毎月最後の週のみ) 長島(1:3週)					齋藤	長島(1:3週)	
	泌尿器科	第1診	穴戸	白岩	穴戸	千葉	熊川	伊東	
		第2診	百瀬	穴戸	熊川	穴戸	千葉	熊川(CAPD外来(1:3-5週) 千葉(2:4週)	
	整形外科	菅野	田口	菅野	小林洋	佐々木	菅野(毎週)/佐々木(1:3-5週) 小林洋(2:4週)		
	形成外科	堀切	縦山	手術	縦山	堀切	堀切(1:3-5週) 縦山(2:4週)		
	耳鼻咽喉科	第1診	担当医(受付は11:00まで)	担当医(受付は11:00まで)	山辺	担当医(受付は11:00まで)	山辺	福島医大	
		第2診			菊地		菊地	山辺(1:3週)/菊地(2:4週) 担当医(5週)	
眼科	第1診	神田	神田	神田	神田	神田	担当医		
	第2診	田中	田中	田中	馬中(1:3週) 橋(2:4週)	田中	福医大(2:3週)		
産婦人科	婦人科	鈴木博志	鈴木和夫	鈴木博志	鈴木和夫	鈴木博志	鈴木和夫(1:3-5週) 大原美希(2:4週)		
	産科	妊婦健診(担当医師/助産師) 予約制							
歯科口腔外科	三科・小板橋・武田	三科・小板橋・武田	三科・小板橋・武田	三科・小板橋・武田	三科・小板橋・武田	三科・小板橋・武田	三科・小板橋・武田		
時間	診療科目	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日		
午後	内科	第1診		増戸		長岐			
		第2診							
		第3診							
		第4診	藤本			(腎臓内科) (1:3週/予約制)	担当医(15時~16時)		
		第5診	柳沼(予約制)	解良(肝臓外来)	斎藤(予約制)				
	神経内科								
	心療内科・精神科								
	小児科	健診・予防接種(予約制) (14時~15時)	1ヶ月健診(予約制) (13時30分~)	健診・予防接種(予約制) (14時~15時)	健診・予防接種(予約制) (14時~15時)	1ヶ月健診(予約制) (13時30分~)			
		慢性疾患(予約制) (15時~)	新生児フォローアップ外来 (予約制)(14時30分~)	佐藤(循環器外来) (完全予約制)	慢性疾患(予約制) (15時~)	新生児フォローアップ外来 (予約制)(14時30分~)			
	外科・肛門科	第1診	中山(乳腺外来)	菊地(ストーマ外来)	中山	浦住(甲状腺外来)	小林(肛門外来)	休 診	
		第2診					岸本(4週/予約制)		
	心臓血管外科	佐戸川(2:4週)							
	脳神経外科	手術・検査							
	皮膚科						齋藤		
	泌尿器科	第1診	穴戸(婦人泌尿器科外来)		穴戸(排尿障害外来)				
		第2診	検査	手術	検査	検査	手術		
	整形外科	関口	手術	大歳	急患のみ	猪狩			
	形成外科	手術	手術	手術	縦山(シミ脱毛外来)	手術			
	耳鼻咽喉科	第1診	手術	手術	検査	手術	検査		
		第2診							
眼科	第1診	手術	予約検査	手術	予約検査	予約検査			
	第2診								
産婦人科	助産師(産褥健診) 予約制	福島医大(不妊外来) (1:3-5週のみ)	助産師(産褥健診) 予約制	吾妻(更年期外来)	助産師(産褥健診) 予約制				
歯科口腔外科	手術	外来手術	外来手術	手術	外来手術				

※上記の診療案内は変更の場合がありますのでご了承下さい。

※再来診療に関しては、一部予約診療を受けておりますので、受診時にご相談下さい。





# 財団法人 湯浅報恩会

理事長 湯浅 大郎

- ホームページアドレス <http://www.jusendo.or.jp>
  - E-mailアドレス [mail@jusendo.or.jp](mailto:mail@jusendo.or.jp)
- 携帯サイトはこちらへ→



## 寿泉堂総合病院

院長 金澤 正晴

〒963-8585 福島県郡山市駅前1丁目1番17号  
TEL.024-932-6363 (代) FAX.024-939-3303

## 寿泉堂香久山 居宅介護支援事業所

〒963-8833 福島県郡山市香久池1丁目18番11号  
TEL.024-932-6501 FAX.024-932-6507

## 寿泉堂香久山病院

院長 春山 和見

〒963-8833 福島県郡山市香久池1丁目18番11号  
TEL.024-932-6368 (代) FAX.024-922-7178

## 寿泉堂香久山 通所リハビリテーション事業所

〒963-8833 福島県郡山市香久池1丁目18番11号  
TEL.024-932-6368 FAX.024-922-7178

## 寿泉堂クリニック

院長 熊川 健二郎

〒963-8002 福島県郡山市駅前1丁目5番7号  
TEL.024-939-4616 (代) FAX.024-939-2351

## いずみ訪問看護ステーション

〒963-8833 福島県郡山市香久池1丁目18番11号  
TEL.024-921-5246 FAX.024-921-5246

## 社会福祉法人 いずみ福祉会 介護老人福祉施設

### スプリングガーデンあさか

〒963-0102 福島県郡山市安積町笹川字日光池西10番1号  
TEL.024-937-3737 FAX.024-946-7611

## 医療法人 為進会

### 寿泉堂松南病院

〒962-0403 福島県須賀川市滑川字池田100番  
TEL.0248-73-4181 (代) FAX.0248-72-8133

## 認知症高齢者グループホーム

### グループホームすぷりんぐ

〒963-0102 福島県郡山市安積町笹川字関谷田37番  
TEL.024-937-3881 FAX.024-947-3788

## 精神障害者社会復帰施設

### パイン・フォレスト

〒962-0403 福島県須賀川市滑川字池田91番  
TEL.0248-73-4182 FAX.0248-63-1185

### 編集後記

広報誌が発刊されて今回で187号を数えます。創刊は1990年4月で、今から約22年前にさかのぼります。当時の編集責任者は、当財団の湯浅大郎理事長が務め、いまある広報誌の土台を作られました。時代とともに広報誌も変化し続け、お陰様で大台の200号という文字が見えてきました。

「一人一人の声を大切に、ステキな福寿草(広報誌)にしていきたい」  
創刊号に記載された編集委員の言葉です。長い年月が過ぎようとも、この想いは今も昔も変わることはありません ㊦